

Information

No.2023-35 Date 2023.7

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、陽性反応の蛍光強度を高めることで、より高感度に検出可能な測定条件に変更させていただきます。

なお、この変更に伴う他の受託要領等の変更はございません。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白



項目名

総合検査案内 2023 : 69 ページ掲載

● フローサイトクロスマッチ (FCXM)

受給者 (レシピエント)

(依頼コード No.13007)

提供者 (ドナー)

(依頼コード No.13008)

変更日 2023年7月31日(月) ご依頼分より

受託要領	新		従来
依頼コード No.	13007	13008	同左
検査項目名	FCXMレシピエント	FCXMドナー	同左
検体必要量	血清 0.5mL	血清 0.5mL 及び 血液 20.0mL	同左
容器	B-2 → S-1	血清 : B-2 → S-1、血液 : B-18	同左
検体の保存方法	凍結	血清 : 凍結、血液 : 室温	同左
所要日数	3~5		同左
検査方法	フローサイトメトリー法		同左
報告形式	【別紙報告】依頼コードNo.13007 : FCXMレシピエントに対してのみ報告書を発行します。		同左
備考	単独検体にてご提出ください。 <曜日指定> 受託可能曜日 : 月~金 土・日・祝日と祝日前日の受付は不可。 <予約検査> 最寄りの営業所に3日前までにご予約ください。		同左

【技術指導・監修】 東京女子医科大学 移植管理科 泌尿器科 教授 石田英樹

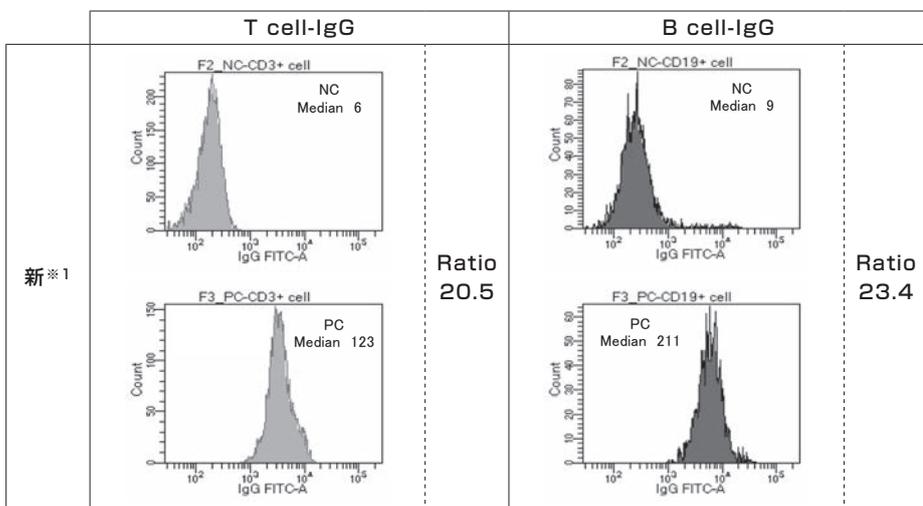
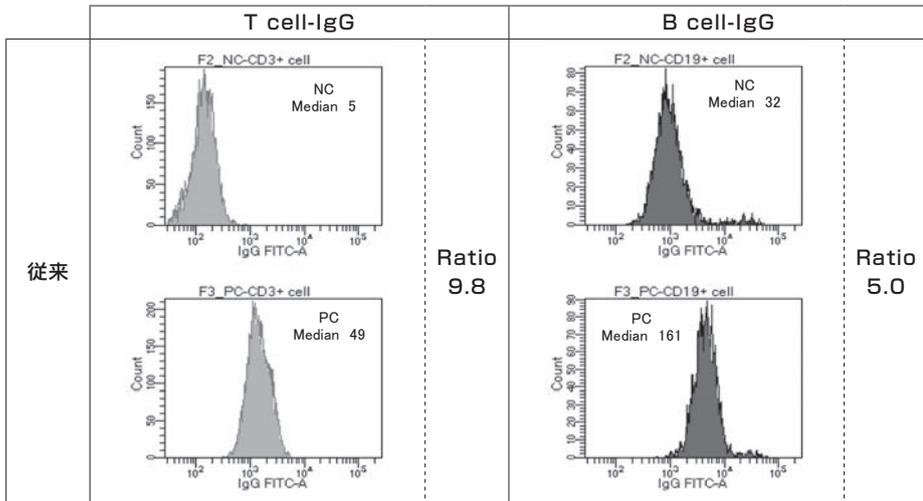
裏面に続きます

株式会社 第一岸本臨床検査センター

札幌本社 : 〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎(011)787-2111 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

陽性シグナル増強によるRatioの向上効果



※1 リツキシマブの投与にかかわらず、プロナーゼ処理を行っています。

(自社検討資料)

報告書見本(コメント欄に以下のコメント内容を新たに追記します)

BML

000-15 53510_00 サンプル病院 院

受付日 23年 07月 03日 受付№. 012-3456

氏名 サンプル1

カルテ№ 男 歳

採血日 23年 07月 03日 時 分 検査科

検査料 検査材料 留取室

検査結果報告書

フローサイトクロスマツタ

受付№. 012-3456 氏名 サンプル1 種 (レシピエント)

受付№. 012-3457 氏名 サンプル2 種 (ドナー)

T cell 判定 (+) Ratio (Sample Median ÷ Control Median) **30.3**

B cell 判定 (+) Ratio (Sample Median ÷ Control Median) **73.6**

T cellカットオフ値 (+) Ratio ≧ 2.0
B cellカットオフ値 (+) Ratio ≧ 2.0

【T cell-IgG】

①Control Negative Serum × Donor T cell

②Sample Recipient Serum × Donor T cell

【B cell-IgG】

①Control Negative Serum × Donor B cell

②Sample Recipient Serum × Donor B cell

コメント

※他の検査結果および臨床所見を考慮して総合的にご判断下さい。

BML総合研究所 03-6829-7286 報告 2023年 07月 07日 検査責任者

[コメント内容]

「他の検査結果および臨床所見を考慮して総合的にご判断下さい。」